

埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットホーム意見交換会

事例発表:ふじみ野市、ふじみ野市社会福祉協議会

発表者:ふじみ野市福祉部地域福祉課長 仲野 公堅

ふじみ野市社会福祉協議会権利擁護係長 村上 秀貴

ふじみ野市の現状

114,333人(9月現在)

世帯数 55,810世帯

14.61 m²

65歳以上人口 29,160人

75歳以上人口 18,091人

25.5% 高齢化率

生活圏域 4ヶ所

高齢者あんしん相談センター4ヶ所

第9期介護保険料 5,750円

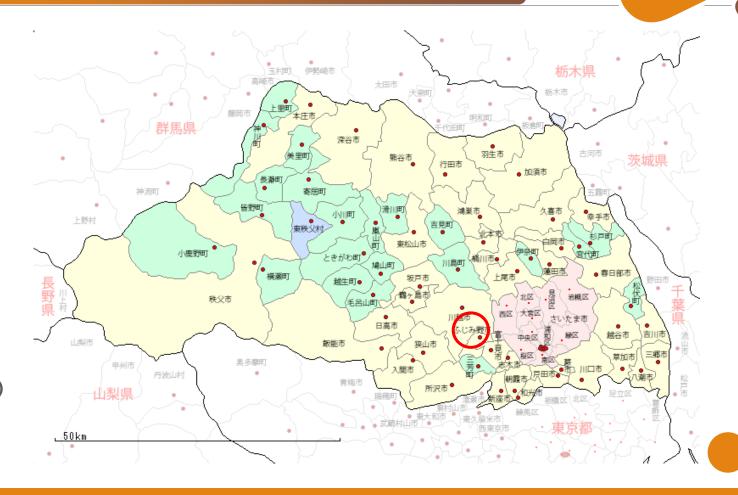
被保険者数 29,045人(9月現在)

認定者数 5,771人 認定率 19,87%

保護率 1.66%(7月現在)

1,535世帯(9月現在) 保護世帯数

保護人員 2,880人(9月現在)



孤独・孤立の取組



令和7年度の官民連携プラットホームの取組の一環として、市内商業施設『トナリエ』さんと連携、普及啓発イベントを実施













イベントを通じ、地域との繋がり取組としての『立ち寄りカフェ』、 孤独・孤立の防止のための『出前相談会』、珈琲を通じた地域づくり 『コミュニティカフェ・トレゾー』、普及啓発として『パネル展』



高齢者が抱える問題

- ・急な入院等の手続きや緊急連絡先
- ・医療費、賃料、介護サービスの支払い等
- ・死後の葬儀や埋葬の手続き
- ・孤独しないようための見守り

問題を解決する前に

不安を抱えている高齢者は、元気な方が 多いことが分かり、成年後見制度には該 当しない方が多いことも分かった

問題を解決するには(1)

判断能力が低下すれば、法定後見制度で解決することも多いが、そこまでの判断能力の低下には至らない場合、任意後見制度になる。しかし、任意後見制度の利用をしている人は非常に少ない現状である。

問題を解決するには②

任意後見制度以外で、解決する方法はないのか検討… 社会福祉協議会は市民からの信頼もあり、 見守りや、委任契約、死後事務を行えば、 ニーズはあると考えた。

問題を解決するには③

専門職の方を招いての作業部会を行い、 見守り、事務委任、死後事務を3点セット で行うことで、高齢者の問題を解決することが出来ると考えた。

問題を解決するには4



ふじみ野みらいサポートのパンフレット